

## 8.17 東地協「平和学習会」

# 浮かれすぎた日本

～アニメ DVD “えっちゃんのせんそう” 上映～

東地協は8月17日、今年で4回目となる平和学習会を開催した。今回は、アニメ DVD “えっちゃんのせんそう” を上映し、敗戦前後の「満州」における「侵略国日本」の“罪と罰”を考えた。



このアニメは“火垂るの墓”で有名な虫プロダクションの作品。内容は、日本の傀儡政権である満州国に移住していた日本人のひとり“えっちゃん”の目を通して敗戦直後の中国大陆における混乱の数々を物語にしたもの。

作品の中では、日本軍が日本の移住者をソビエト(現ロシア)南下の防波堤にしたことや、中国人への差別行為が結果として敗戦後、日本人にはねかえってきたこと、その中であっても民族の違いを超えてひとりの人間としての付き合い(民衆連帯

一人権を守ること)が大事であることなど、現在にも通じる“人権と平和の思想”が随所に見られた。また、満州から日本への引き上げ船のなかで大人たちが「わたしたちは満州、満州と浮かれすぎていた」と日本の中国侵略の間違いを率直に認める会話や、少年が死に際、「ぼく、本当は軍人になるのが怖かったんだ」と心情を吐露した場面は、学習会参加者にこのプロダクションからのメッセージを見て取ったのではないだろうか。

## 東地協「2019 地域政策に関する自治体議員との懇談会」

# 政策は積み重ねが大事！

東地協は7月5日、「2020年度地域制度・政策要求作成に向けた自治体議員との懇談会」開催した。この懇談会には東地協から11名、自治体議員5名(斎藤 香南市議、今西・中山 南国市議、和田 土佐町議、吉川 本山町議)が参加、地域の課題や政策について熱心に意見交換した。

開催にあたって白木議長は「政策・制度要求の活動は、すぐに成果が出るものではないが、議員のみなさんとも連携しながら一つひとつ

積み重ねてやっていきたい」とあいさつ。続いて、市川事務局長が“東地協 2019 年度政策・制度要求の回答評価”をしたうえで、「2020 年度政策・制度要求の素案」を説明。その後、これらの内容について意見交換をおこなった。自治体議員からは、「引きこもり問題に関する行政窓口の一本化の必要性」や「災害時の避難所運営計画における LGBT 対応の視点」、「過疎地域の公共交通の在り方や森林管理・運営の課題」な

### 東地協「2020年度政策要求」(案)

- 1. 包括的な社会の構築に向けて**
  - (1) 生活困窮者の自立支援について  
就職氷河期世代の困窮者支援をはじめ、この世代が近い将来、年金受給年齢に到達することを踏まえて、健康・居住・就労・家計面等の支援が適切に組み合わせられるよう、支援体制のあり方を“点検”すること。また、引きこもり対策を強化するとともに、対応窓口を一本化すること。
  - (2) 子ども貧困の解消について  
子どもの貧困の解消と世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るため、地域における子どもの生活実態を関係機関と連携して把握することや、必要な生活支援(学習支援、居場所の提供など)を行う計画を策定し、効果的な支援を進めていくこと。
  - (3) 障がい者の地域社会参画推進について  
「障害者優先調達推進法」にもとづき、障がい者就労施設などから積極的に仕事の発注や物品の購入を行うこと。
  - (4) 地域における多文化共生社会の実現について  
生活者としての外国人に対する支援について、居住する外国人および支援団体等からの意見を開く場を設け、「地域における多文化共生推進プラン」を策定したうえで、真に実効性ある共生支援施策を推進すること。
- 2. 社会的弱者を保護する観点にたった避難・避難所計画について**
  - (1) 自然災害に備えた避難計画・避難所運営計画の策定について  
被災時における高齢者や障がい者、子ども、疾患のある人、外国人などの移動手段の確保を含む避難計画を作成すること。また、ハンディのある方やLGBTなど個性的に配慮が必要な方々への“合理的配慮”を踏まえた避難所運営計画を策定すること。
- 3. 安心・安全な生活と持続可能なライフラインの確保について**
  - (1) 住民の“命と健康”にかかわる自治体事業について  
上下水道など公益性の高い自治体事業は、安易な民間委託・民営化をおこなわず、地域住民の立場にたつて公営原則で運営すること。
- 4. 人権を尊重した公正な社会の実現に向けて**
  - (1) あらゆる差別をなくし人権を尊重するまちづくりについて  
「障害者差別解消法」と「ヘイトスピーチ解消法」、そして、「部落差別解消推進法」という3つの差別解消法の住民への周知・啓発を積極的におこない、“差別のないまちづくり”を進めていくこと。

どについて意見が出された。これらについては、要求の趣旨説明の部分も含めて2020年度政策・制度要求にできるだけ反映することにした。